

人間総合科学研究科

学生の確保 (人)	年次	定員	志願者		受験者		合格者	入学者	
			学内	学外	学内	学外		学内	学外
1年次	143 ※ - (143)	93 ※ 3 (116)	139 ※ 31 (173)	91 ※ 3 (115)	134 ※ 29 (165)	158 ※ 20 (185)	77 ※ 1 (89)	73 ※ 19 (84)	
	3年次 編入学	- ※ - (-)	44 ※ 6 (-)	26 ※ 7 (-)	42 ※ 6 (-)		26 ※ 7 (-)	37 ※ 5 (-)	22 ※ 1 (-)
学位授与数 (人)	博士課程修了				論文博士		博士課程修士		
	修了年次定員		修了者数		授与数		授与数		
	- (-)		3 (-)		37 (33)		64 (58)		
学生の研究活動 (件)	論文・著書発表数		学会発表数			受賞・表彰等			
	310 (407)		612 (626)			7 (8)			
学生の進路 (人)		教員	企業	公務員	研究員 (学術振興会)	その他			
	修了者	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)	2 (-)			
	退学者	- (1)	- (1)	- (-)	- (-)	- (5)			

・「学位授与数」の欄の「博士課程修士」は、中間評価の合格者数を示す。

・() は前年度の数値を、※は外国人留学生を内数で示す。

1 人間総合科学研究科の活動

- (1) 概要 本研究科は、人間を共通のキーワードに、平成13年度旧博士課程6研究科11専攻を改組・再編し、諸学問分野が連携・融合した3独立専攻を加えて発足した博士課程研究科である。
- (2) 運営 毎月開催される研究科運営委員会が研究科全体の管理運営を行うこととしている。
- (3) 教育目標及び教育課程 教育体制の整備・拡充をめざして各専攻でいくつかの科目追加を行った。医学5専攻で既に実施されている昼夜開講制及び社会人入試の導入がいくつかの専攻で構想されている。
- (4) 学生の応募・入学 入学定員143名に対し志願者は232名、入学者は150名であった。この数字は本研究科への受験生の関心が高かったことを示す。
- (5) 研究科ホームページをさらに洗練化して最新情報をWEB上で公開する体制をとった。
- (6) 学生指導体制と課程修了 全専攻とも複数指導教官制を敷き、きめ細かい指導を行った。
なお、医学を履修する課程である先端応用医学専攻、分子情報・生体統御医学専攻及び機能制御医学専攻において、各1名合計3名の早期修了者があった。
- (7) 論文博士の審査体制と学位授与 研究科の統一的審査規定に基づき、順調に論文博士の審査及び学位授与が行われた。平成15年度において審査し授与認定した博士の学位は37件であった。

2 教員の教育業績評価の状況

平成13年度から平成17年度までは設置審による審査を必要としている。これによって教員の教育業績は外部的な評価を受けた。本研究科では運営委員会において、設置審の評価に加え、研究指導担当及び授業担当にふさわしい教員の認定を全専攻に求めている。また法人化をにらみながら、教員の研究業績及び教育業績の公平かつ客観的な評価体制の確立をめざしている。

3 自己評価と課題

発足間もない研究科なので自己点検・自己評価を行うに足る実績はなかったが、毎年度各専攻は問題点と改善策について不断の論議を重ねることが必要である。全専攻で中間評価を行い、医学5専攻を除く9専攻で中間評価合格者への修士号授与を行った。

4 その他特記事項

- (1) 21世紀COEに対して応募したプログラム（感性認知脳科学専攻・心理学専攻・芸術学専攻）が選定された。
- (2) 施設小委員会が発足し、総合研究棟D棟の管理・利用計画の策定案が立てられた。